

「北海道 CLASS プロジェクト」における商品開発による地域活性化の実践

北海道夕張高等学校 学級数 3 (校長 濱村 隆康)

□ 実践の概要

令和 3 年度から継続して実施している北海道 CLASS プロジェクトの一環として、オリジナル商品開発に係る市場調査を行い、課題を明確にするとともに、地元の農家や企業等と連携しながら課題の解決に向けて試行錯誤する学習過程を重視した実践をしている。

1 実践の目的

夕張市の特産品を活用した商品開発を行うことにより、産業振興による地域の活性化を目的とする。今年度は、次の 3 点を目標として実践を行った。

- ・自治体や企業等との連携を強化した協働的な取組の発展
- ・地元の農作物等を活用した商品開発に向けた探究的な学習の推進
- ・学校と地域の連携・協働の深まりを見取る評価方法等の確立

2 実践内容

(1) 実施計画

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| ・令和 4 年 12 月～令和 5 年 4 月 | 企画立案、企画プレゼン資料作成 |
| ・令和 5 年 4 月～令和 5 年 7 月 | 生徒による試作の実施 |
| ・令和 5 年 8 月～令和 5 年 9 月 | 協働企業の決定、企業による試作品の第 1 弾の作成・確認 |
| ・令和 5 年 9 月～令和 5 年 10 月 | 企業による試作品の第 2 弾の作成・確認 |
| ・令和 5 年 10 月～令和 5 年 11 月 | 商品発表会（夕張市内）で市内施設での商品発表の実施 |
| ・令和 5 年 11 月以降 | 北海道 CLASS プロジェクト発表 |

(2) 取組の具体

- ・令和 4 年 12 月から令和 5 年 7 月にかけて、生徒が、夕張の魅力となる商品開発を企画・立案し、試作した。
- ・令和 5 年 9 月 22 日（金）、生徒が、拠点複合施設「りすた」で地域住民向けの試食会を実施した。
- ・令和 5 年 12 月 8 日（金）、生徒が、道庁・庁舎官民交流サロン「こねくと」で鈴木知事及び倉本教育長に次の 3 品を試食していただき、北海道 CLASS プロジェクトの成果を報告した。

	企画商品名	商品説明
1	夕張メロンプロテインチョコ	煎り大豆とプロテインパフをキャラメルで固め、夕張メロンパウダー配合のチョコレートでコーティングした
2	長いもパスタ	パスタ生地にしりおろした夕張産長芋を練り込み、パスタ用トマトソースには夕張産トマト・バジル・ニンニク・玉ねぎを使用した
3	大判焼き	夕張産長いもと米粉を生地に練り込み、中に紫花豆の餡を入れた大判焼

(3) 取組後の点検・評価、工夫改善

試食会の後、夕張市内の企業に商品開発の協力を依頼したが、協力企業、事業者を決定することができないグループがあった。

(4) 改善後の取組

全てのグループが、地域コーディネーターによる企業の紹介や、夕張市を通じた企業への協力依頼によって、協力企業を決定することができた。

生徒は、地元企業と連携した商品開発を通して、地域の一員としての意識を高め、専門的なアドバイスを聞きながら、課題の解決に向けて試行錯誤することができた。



【生徒試作の様子】



【知事訪問の様子】

3 実践のポイント

- ・地域コーディネーターが、学校と地元の企業や団体等をつなぐ役割を果たしている。
- ・地元企業が、北海道 CLASS プロジェクトでの高校生の活躍を評価し、新規高等学校卒業者の求人数を増やした。
- ・地域住民は、学校の「地域の未来を創る人材を育成する取組」に対して、生徒が地元就職していることなどから、「地域に人材を還元してもらい、地域が活性化された」と評価している。